



昭和36年12月5日午後5時
ハトヤにて伊東ライオンズクラブ結成式を挙ぐ
本会設立の産婆役式場隆三郎博士、天才画家山下清氏を
帯同して来会、山下氏の色紙百枚を頒つ

結成式当日式場博士とL三輪信一
と旧交を温む



昭和37年6月21日ライオネスト初めて顔合せ、
7月8日のチャーターナイトにライオンズの三つの歌を
上手に歌おうとシャボテン公園で西小の山下先生に指導
さる。みんな一人歩きができるようになった。

伊東LC誕生の由来

東京LCの式場隆三郎博士と、東拓社長
小林正寿氏が、伊東でばったり邂逅し、た
またまライオンズクラブという珍しい団
体が処々に結成される話題に花が咲いて、
式場ライオンが小林氏に鼓吹した。

氏はまもなく伊東の懇意の人達に伝え、
それがたちまち燎原の火の如く燃え拡が
り、最初の会合が三十六年十一月四日夜、
岡の待鶴居(たいおうきよ)という館に開
かれた。

集まった面々は、式場、小林の両君の幹
旋で、岡川二郎氏、竹内利一氏、伊郷幹雄
氏、武見次郎氏、佐藤清一氏、山田義郎氏
の八名。はじめて式場博士より、会の性質
組織などを伺った。二回目の会合が、同十
四日、天城医院に集合、八氏の外、肥田通
夫氏、加藤七五三氏、青木理市氏、萩原
正氏、西山平作氏、三津岡董氏、小川好氏
山崎正雄氏、柴田光之助氏、沼田伊三郎氏
原口清司氏の諸氏であった。東京LCより
酒井忠博幹事来場、諸般の委しい説明があ
ったが、聞きなれない団体の概念がピンと
しなかった。十一月二十日第三回目の会合
が開かれて、大体の見当がつき、十二月一
日に第四回の会合が開かれ、会員の募集、
部署の決定、結成の方法、準備等、てんや
わんやの大騒ぎ、ついに十二月五日ハトヤ
のホールにて誕生、勇ましく呱呱の声をあ
げたのです。(なお委しいことは三十八年一
九六三年)七月八日発行の伊東LC会報第
一号に載せてある。

認 証 式



認証式全景

7月8日晩西小講堂にて市民サービル自衛隊吹奏楽の集い



自衛隊音楽隊市内パレード



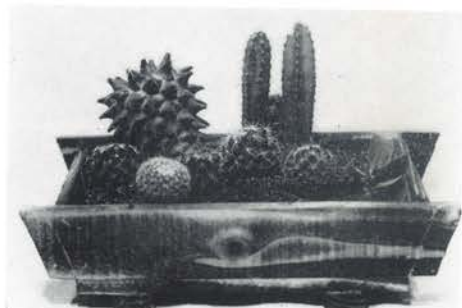
来賓続々来場



祝宴席の中央市長の外来賓の方々



来賓に600名贈呈した土産品の一部シャボテン盆栽



大島三原山エキスカッション
御神火茶屋スナップ

チャーターナイト記念植樹



会場入口

八代田奥野松川上流に市の名士を
招き梅の植樹（将来は五千本の大
梅園を夢みて意気天を衝く）後の
慰勞山中にガスボンベをかつぎ込
み慈の水たき

戸外にはみでた宴席



チャーターナイト記念（一九六二年九・一二）
天使のラッパ、日マラヤコボタン（桜苗木）
二百本を市の公園に植樹 寄附



一九六二・四・五〇九 第八回全国大会
日本ライオンズ創立十周年記念大会に初めて参加
（写真の中央右下に伊東LCが構えている）